

## 「第21回高知県農業担い手サミット in 黒潮町」を開催しました

### 日程等

○日時 令和2年1月28日(火) 13:30～17:00

29日(水) 8:30～12:00

○場所 黒潮町「ふるさと総合センター」等

○テーマ 「スマート農業が目指す魅力ある農業と新たな担い手確保の取り組み」

○プログラム

(1日目)・優良担い手事例紹介(3事例)

森岡 拓さん、(株)南国スタイル、営農支援センター四万十(株)

・記念講演 「スマート農業加速化実証事業の概要について」

講師 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

野菜花き研究部門研究推進部研究推進室 武田光能さん

「Next 次世代型施設園芸農業」への進化の取り組み

講師 高知県農業振興部農業イノベーション推進課

参事兼課長 岡林 俊宏 様

・サミット宣言

・懇親会

(2日目)・現地視察(3ヶ所)

黒潮町南部花卉団地 吉尾正人さん(ダリアハウス)、

一般社団法人黒潮町農業公社(キュウリ、レモン、研修用ハウス)

J A高知県幡多地区佐賀支所出荷場(ニラそぐり機)

### 活動報告

2日間にわたり開催したサミットは、県内の農業者や関係機関等119名の参加がありました。

優良担い手事例紹介では、スマート農業を実践している3名の担い手から特徴ある取り組みが報告されました。

記念講演を行った国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の武田光能さんからは、農林水産業の現場では省力化や人手の確保、負担の軽減の課題解決のため「スマート農業加速化実証プロジェクト」に取り組み、生産現場への最先端技術の導入や、データや活動記録等を農業者に提供を行っているなどの話がありました。

高知県農業イノベーション推進課長の岡林俊宏さんからは、オランダ農業を手本とした「次世代型こうち新施設園芸システム」から、さらに収量増加や高品質化、省力化を目指していくため次世代型こうち新施設園芸システムにAIやIoTなどの最先端の技術を融合させた「Next次世代型のシステム」の開発についての話がありました。

3カ所で行った現地視察では、それぞれの特徴的な取り組みを視察し、技術の向上や担い手の確保に向けた努力や労働力を確保する苦勞など話をお伺いしました。

2日間にわたり、優良な経営体のさまざまな取り組み等を聞くことができ、参加者にとって有益な時間となりました。